

千葉大学大学院医学薬学府

修士課程医科学専攻

大学院認定遺伝カウンセラー養成課程の概要

2019年度説明会資料

(抜粋20190819版)

目次 ①-1 泌尿器科学教室について / -2 遺伝子診療部について

①-3 遺伝子診療部の会議について

② 修学内容の詳細

・ 講義 (GCコース必修)

・ 演習 (GCコース必修)

・ 陪席 (GCコース必修)

・ 修士論文

・ その他

③ その他

①-1 泌尿器科学教室について <http://www.m.chiba-u.ac.jp/class/urology/>

| | |
|------|------------------------------|
| 教授 | 市川智彦 |
| 准教授 | 小宮 顕 |
| 講師 | 坂本信一、 仲村和芳 |
| 助教 | 今村有佑、 佐塚智和、 加藤繭子、 竹内信善、 山本賢志 |
| 医員 | 2名 |
| 専攻医 | 7名 |
| 大学院生 | |
| 博士課程 | 14名 |
| 修士課程 | 3名(遺伝カウンセラーコース 1年次) |
| 実験助手 | 3名 |
| 秘書 | 4名 |

①-2 遺伝子診療部について <http://www.ho.chiba-u.ac.jp/GC/index.html>

| | |
|------------|--|
| 部長 | 市川智彦(泌尿器科教授) |
| 教授 | 羽田 明(公衆衛生学、名誉教授)、野村文夫(特任教授、名誉教授) |
| 准教授 | 松下一之(検査部部长) |
| 講師 | 西村 基(検査部) |
| 助教 | 井上万里子(周産期母性科)、 中田 恵美里(周産期母性科)、 |
| 医員 | 澤井 摂(検査部) |
| | <以上 臨床遺伝専門医> |
| 認定遺伝カウンセラー | 宇津野恵美<認定遺伝カウンセラー指導者> |
| 公認心理師 | 1名 |
| 臨床検査技師 | 2名 |
| 秘書 | 2名 |
| 教授 | 田中知明(分子病態解析学) |
| 助教 | 三階貴史(乳腺外科)、坂本信一(泌尿器科)、今村有佑(泌尿器科)、 内藤幸子(小児科) |
| 医員 | 3名 |

①-3 遺伝子診療部の会議について

【遺伝学的検査検討会】

- ・毎月第2月曜・第4月曜に実施(11時～)
- ・遺伝カウンセリングの予定、遺伝学的検査の結果を担当医や認定遺伝カウンセラーが報告
- ・院生が検討会の議事録を作成

【遺伝カウンセリングミーティング】

- ・毎月第1火曜・第3火曜に実施(12時～)
- ・遺伝カウンセリングの症例を担当医や認定遺伝カウンセラーが報告
- ・院生がミーティングの議事録を作成

【カンファレンス】

- ・毎月第4木曜 19時から実施
- ・院内だけでなく院外の先生が集まり、特定のテーマについて講演
- ・先生方が臨床で経験していること等を聞く機会

② 修学内容の詳細 講義（GCコース必修）

【遺伝情報応用学特論】

- ・遺伝医学について学ぶ講義
- ・必要最低限の人類遺伝学、分子遺伝学の知識を身につける
- ・最終回はテスト

【医学薬学研究序説・生命倫理学特論】

- ・当事者、専門家によるオムニバス形式の講義
- ・患者、クライアントの立場で考える機会になる
- ・毎回、感想を提出する
- ・最終課題にレポートがある

② 修学内容の詳細 演習（GCコース必修）

【遺伝情報学演習】

毎月第1火曜・第3火曜に実施（12時30分～）

- ・遺伝カウンセリングに関する洋書を輪読する

M1: Genetics in Medicine (Thompson & Thompson)

- ・担当したページ、疾患を要約してハンドアウトを作成する

毎月第1火曜・第3火曜に実施（13時00分～）

- ・遺伝カウンセリングロールプレイ

② 修学内容の詳細 陪席（GCコース必修）

【陪席】

- ・ 遺伝カウンセリングに陪席する
- ・ 各症例について報告書を書き、担当の医師に提出、指導を受ける
→ 認定試験の際に必要なログ原本となる

【陪席場所】

- ・ 千葉大学附属病院遺伝子診療部：原則すべて1名ずつ陪席

【協力病院での陪席】

- ・ 千葉県こども病院、山口病院（西船橋）、千葉県がんセンターなど

②修学内容の詳細 — 修士論文 —

修士の研究をする前提条件

☆下記の講義(計14回:10月~3月)を規定回数以上、受講し研修認定番号を得ること(研究倫理申請に記載する事が求められる)

- ・臨床研究従事者研修のための講義(臨床研究従事者記録制度)

②修学内容の詳細 — 修士論文 —

- ☆ 修士論文のテーマ選択の進捗状況を教室会議で発表する
 - ・ 6月以降、修士のテーマが決定し研究発表を行うまで
 - ・ 毎回の教室会議にて進捗状況の報告を行う(スライド1枚程度)
 - ・ 研究の妥当性・実現可能性に関して質疑応答
 - ・ テーマ決定後、研究計画をブラッシュアップして倫理申請
 - 承諾後に研究開始
 - ・ 毎回研究の進捗状況を確認
 - ・ 発表スライドを毎回拡充し、研究発表までに仕上げる

②修学内容の詳細 — 修士論文 —

【過去のテーマ: 泌尿器科学】

- ▷ 2017年度入学
 - ・男性不妊治療における遺伝カウンセラーのニーズに関する研究
- ▷ 2019年度入学
 - ・シスチン尿症の遺伝カウンセリングに関する研究
 - ・シスチン尿症の遺伝学的解析に関する研究
 - ・泌尿器科悪性腫瘍における遺伝子解析に関する研究

②修学内容の詳細 —その他—

【大学院講義】

- ・特論で13単位必修(前期のみ開講、一部は集中講義)

【特別実験・自主研究】

- ・修士論文

【その他】

- ・臨床研究従事者研修のための講義(10月～3月開講:夜)
- ・CIPT* : 受講は自由(開催時期はシラバス参照)

*CIPT: CHIBA INNOVATION PROGRAM FOR THERAPEUTICS

- ・他学部の講義や英語などの受講

②修学内容の詳細 —その他—

【公認心理師の特別指導】

- ・遺伝カウンセラーのためのコミュニケーション論
- ・遺伝カウンセリング陪席前に受ける

【業務の補助】

- ・遺伝子診療部における電話対応
- ・ミーティングの準備や資料の整理
- ・医学部学生に対する遺伝カウンセリングロールプレイの指導

【各種学会での発表】

- ・筆頭演者の場合は登録費・旅費等を補助

【各種セミナー、研究会などへの参加】

- ・自主参加

③その他

学関連する学会への入会

- ・日本カウンセリング学会、もしくは、日本人類遺伝学会
- ・認定試験を受ける前に2年間会員であることが必要

